

鎌倉 パートナーズ



第59号 平成23年(2011年)6月発行(季刊)
鎌倉市市民活動センター広報紙

目 次

市民活動の日フェスティバル開催	P 2~3	アンケート結果報告	P 7
東日本大震災支援関係イベント	P 4~5	センターからのお知らせ	P 8
情報コーナー・相談Q&A	P 6		



(フェスティバルの様子)

第13回 かまくら市民活動の日

実行委員長 あいさつ

今回は、鎌倉の将来を担うこどもたち、若者たちをターゲットとして、『つなごう手と手 ハートとハート』をテーマに、昨年10月より企画を膨らませてまいりました。

パネル展示やデモによる活動の紹介コーナー、「キッズコーナー」「似顔絵コーナー」「名刺コーナー」「相談コーナー」「古本市」などを1階ロビーと地下ギャラリー、階段の踊り場に配置しました。玄関前はパフォーマンス、2Fホールは「こどもミュージカル」「群読」などの発表の場としました。2700名余の市民の方が来場し、市民活動の一端に触れていただくことができました。このイベントを通し、市民活動の周知が図れるばかりでなく、市民活動全般が活性化し、活動団体同士の交流を深めることにより、鎌倉の歴史や自然を守りつつ、新しいまちづくり、生活環境づくりにつながるお手伝いできればと、考えています。

また、3月11日に発生した「東日本大震災」で被災地に行かれた団体による報告会を開催し、「鎌倉の今後」、「鎌倉から今何ができる」などを考える場を提供できたことなど、充実した三日間であります。

デコレーション、販売コーナー、キッズコーナー等、フェスティバルの運営に御協力いただいた団体をはじめ、すべての皆様の御協力に感謝いたします。お疲れ様でした。また、来年もよろしくお願ひします。(平塚 優)



開会式



木の音色
ギターとマンドリンデュオ



かまくらシニアネット交流会

かまくらシニアネット交流会（KSネット交流会）は、平成17年4月に発足したIT活動を主体とする団体で、「シニア情報生活アドバイザー養成講座」を修了した仲間です。この公的資格は、(財)ニューメディア開発協会が認証するもので、会員数は63名(4月末)です。



活動主旨はパソコン、インターネット等の情報通信技術を学ぶこと、地域社会の活性化に貢献し会員相互のコミュニケーションを図り豊かなシニアライフを実現することです。

活動として、デジカメ・スケッチ・俳句・川柳・HTMLなどの講座があります。また、NPOセンター主催のパソコン教室の一部を担当させて頂いております。活動はホームページ「KSネット」で検索可能です。

フェスティバル期間は19日の準備から22日の撤収まで協力致しました。また、似顔絵ブースと連携して、名刺・プリクラを担当しました。参加人数はそれぞれ110人、60人でした。(代表 斎藤 淳)

フェスティバル開催

5月20日~22日

つなごう手と手

ハートとハート
鎌倉からエールを

パネルコンテスト
金賞



パネルコンテスト
授賞式



被災地支援
活動報告会



群読



自然環境と人間生活を考える会

自然環境と人間生活を考える会は、特定の趣味・同好会ではありません。

一般市民を対象とした国際教養啓発活動を企画運営する団体です。活動の4本柱は「環境・平和・教育・伝統文化」です。元外交官が、幅広い人脈を生かし、スーパー専門家を選び、話題性のあるテーマについて講演してもらったり、子どもを対象とした外国童話紹介(展示会・朗読会)をしたりしています。隔月の土曜か日曜日に鎌倉生涯学習センターで開催しておりますので(参加料500円)どなたでも参加できます。

世界に視野を広げ、自然と人間との共生のありかたを考える機会を提供したいと思っています。

このフェスティバルには初参加でしたが、国際映画祭最優秀賞受賞のアイスランド子ども映画「イキングッド」を上映、アイスランド留学生のスピーチ、関連の写真展示会をホールで開催しました。大震災支援活動の一環です。今回の大震災は我々市民に、①他の市民のために ②お互いが支え合うように ③自分のできることをやる、という3つの教訓を与えました。

このような意識が市民の間に広がっていくことを期待しています。

(渡邊 奉勝)



東日本大震災

- 広がる支援の輪「御成小学校での支援物資の仕分け」
- 鎌倉子どもチャリティイベント開催「愛と勇気と希望、そして笑顔」
- 鎌倉市民の心を届けよう「合同バザー」
- 3団体による「ボランティア活動報告」

広がる支援の輪 支援物資→鎌倉を 出発!

被災者に思いを載せて・・・

3月26日～31日、鎌倉市による東北地方太平洋沖地震被災者・避難者への支援物資受付が行われました。受付・仕分け作業・品物別の箱詰め作業等は多数の市民や団体が呼応しました。6日間で1300件、17万余点が集まり、それぞれの想いとともに関東を経由して被災地に運ばれました。



御成小学校でのボランティアによる支援物資の仕分け

愛の袋

「愛と勇気と希望、そして笑顔」

5月3日(火)由比ヶ浜海浜公園にて「被災した子どもたちを笑顔にしよう」という鎌倉子どもチャリティイベントが開かれました。

実行委員会の呼びかけで、ぬいぐるみ・文房具・おもちゃ・トランプ等々、子どもたちが笑顔になるプレゼントを「HEART ONE」とデザインされた愛の袋に入れて直接被災者の子どもたちに「5日の子どもの日」に届けられました。



「東日本大震災救援 合同バザー」

5月7日(土)、鎌倉市役所駐車場において東日本大震災救援活動を展開している鎌倉市の活動に協力するための「合同バザー」が開催されました。

このバザーは、鎌倉ユネスコ協会の呼びかけで、鎌倉市、社会福祉協議会、鎌倉市市民活動センター運営会議の共催で実施したものです。

「飲食ブース」、衣類、雑貨、食料品、古本等の「バザーブース」、「パフォーマンスブース」そして「オークション」等50を超える団体の参加がありました。

また、会場では、学生たちによる募金活動も行われました。当日はあいにくの天候でしたが、2,300人も多数の市民の皆さんが来場され、活気のあるバザーとなりました。

鎌倉市市民活動センター運営会議は、「古本市」で参加しました。午前中は雨のためNPOセンターを利用した参加になりましたが、午後からは会場である駐車場で販売することができました。

大量の古本を提供して下さった『セカンドブックアーク』のご協力により収益金は全て運営会議収益金とさせていただきます。

また、パフォーマンスとして参加されたバルーンアートの中村さんからも収益金を全額寄付していただきました。

この合同バザーの収益金467万円余は「鎌倉市による救援活動」に寄託されます。



鎌倉市民の心をとどけよう 「東日本大震災救援合同バザー」 & 「ボランティア活動報告」

「ボランティア活動報告会」



かまくら市民活動の日フェスティバル(特別企画)において「東日本大震災被災地ボランティア活動報告会」が開かれました。

現在、被災地でのボランティア活動を展開している鎌倉の3団体が報告を行いました。

★ちきゅうの子22 (<http://chikyu22.jimdo.com/>)

まずは自分の目で見てニーズを把握するためテント、水、トイレ、食糧を持参し現地に入った。同じ被災地でも地域によりニーズが違うこと、在宅への炊き出しが行き届いていないことが分かった。そこで、地元の方たちと一緒に調理をする炊き出しやアーティストによる音楽交流を行った。食を通じたサポートのほか被災地の販売窓口が必要であると考えている。

★鎌倉てらこや (<http://kamakura-terakoya.net/>)

「NPO 法人全国てらこやネットワーク」との連携、協力により炊き出しのほか、「遊び」と「学び」のケアを行った。学習教室の補助やスポーツ大会を通じた交流を行った。中・長期にわたる支援につなげたい。

★鎌倉とどけ隊

(http://homepage2.nifty.com/kamakurasi/11_1.htm)

この震災を受けて結成され、「仙台とどけ隊」「石巻明友館」と連携して支援している。子どもに対するケアと同様、大人に対するケアが必要と考え、気持ちが折れて動き出せない方たちとの心の交流も行っている。

「支援」という言葉を使わず、「交流」という考え方で多くのつながり、未永く交流を続けたい。現地での支援のほか、炊き出しのための食材や準備などの支援も募集している。

報告後、三者による意見交換が行われ、募金・現地活動・事業準備・販売活動の支援、接点を作る上でのイベント型活動など、今後必要な支援について話し合われました。

また、石巻は「石巻モデル」と言われるくらい早くから民間のボランティアが入って活動していることも紹介されました。

医療支援として南三陸町を中心に活動なさった酒井先生(雪の下で開業内科医)も飛び入りで参加され、避難所に行かれない方たちへの支援、被災地へ支援に入ることの難しさなど医療面からの報告もされました。

情報コーナー

震災支援情報

ご協力ありがとうございます

「東日本大震災救援支援金」へのご協力、ありがとうございます。救援支援金は被災者救援活動のための支援金として使用させていただきます。

今後も継続いたしますので、よろしく願いいたします。

支援ボランティア登録について

たくさんの方々に震災支援のボランティア登録をしていただきました。ありがとうございます。

現在、雇用促進住宅等に32世帯58の方が居住していらっしやいますが、ボランティアの要請はございません。

支援活動が決まり次第、お知らせいたします。

被災地での市民ボランティア

現在、鎌倉の多くの市民団体が被災地でのボランティア活動を行っています。詳細は、パートナーズ「鎌倉市 ☆ 特集 東日本大震災」のページをご覧ください。

ボランティア活動奨励賞

当センターの利用登録団体「朋ボランティアグループ」が神奈川県ボランティア活動奨励賞を受賞しました。

『福祉作業所や授産施設で作られた商品を継続的に販売できるような活動していること』、『ボランティアがそれぞれのライフスタイルに合わせて参加できる独自の運営形態で活動していること』が評価されました。

★ かながわボランティア活動推進基金21

(ボランティア活動補助金) 説明会開催

日時：8月31日(水) 17時～

場所：NPOセンター大船

問合せ：かながわ県民活動サポートセンター

(tel:045-312-1121 fax:045-312-4810)

※参加ご希望の方は、かながわ県民活動サポートセンターにお申し込みください。

助成金情報

助成金情報は、当センターホームページ「助成金情報」に掲載されています。

詳しい募集要項についてお知りになりたい方は、ホームページの「募集要項明細」をご覧ください。

ホームページをご覧になれない方は、センターにお越しいただければ、情報をご提供いたします。

相談 Q&A

NPO法人の解散手続きについて

Q：介護保険法に基づく指定居宅介護支援事業を行っているNPO法人ですが、人手不足のため年度末で解散しようと考えています。解散の手続きについて説明してください。

A：まず事業年度末日の近くに臨時総会を開催し、解散と清算人選任の決議をします。清算人には通常では法人の代表者が就任します。

解散日の翌日以降に遅滞なく、解散の登記申請を行い、その後登記簿謄本を添えて、神奈川県に第8号様式による解散届出書を提出します。また所轄税務署や県税事務所、市役所にも解散届出書を提出します。

清算人は清算事務を行います。残余財産がある場合には定款に定められた内容に従って財産を処分し、債務超過の場合には債権者から債務免除を受け、最終的には貸借対照表の資産の部と負債及び正味財産の部がゼロになるように処理をします。

この段階で清算が終了となりますので、再び清算終了報告の臨時総会を開催したのち清算終了の登記を行い、登記簿謄本を添えて、神奈川県と税務署等に清算終了の届出を提出することで清算事務が終了します。

なお、債務超過が大きくて、債権者が多い場合には定款に定める方法で公告をすべきでしょう。

アンケート結果について

調査日：平成23年3月
回答数：71団体

指定管理者として、利用者のニーズを把握し業務内容の向上に努めることを目的に、利用登録団体を対象にしたアンケートを実施いたしました。今回は、12項目の質問に回答いただきました。ご協力、ありがとうございました。

昨年度のNPOセンター利用状況を見ますと、1年間で4,733団体、20,040人が利用しました。会議室利用より印刷機・コピー機を多く利用しています。

また、今後NPOセンターに望むことで一番多いのは相変わらずスペースの充実です。鎌倉の弱点は場所がないこと。各団体とも会議をするにしてもイベントをするにしても場所探しに苦労されているのが目に見えます。

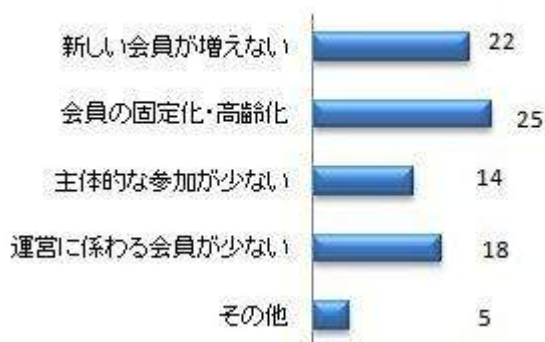
NPOセンターを広い場所への希望は、現実大変難しい状況です。市とは常に交渉を続けています。現在、会議室利用には条件はありますが「末広町内会館」「鎌倉投信会議室」の借用は可能です。お問い合わせください。

次に多かった要望はコーディネート業務、交流の促進です。ソフト面の支援として力を注いでいく必要があります。

今まで以上に利用者のニーズに耳を傾け運営してまいります。日頃、お気づきの点がありましたら、ご意見をくださいますようお願いいたします。

主な項目をグラフで表しました。(鎌倉市市民活動センター長 渡邊公子)

困っていること(会員について)



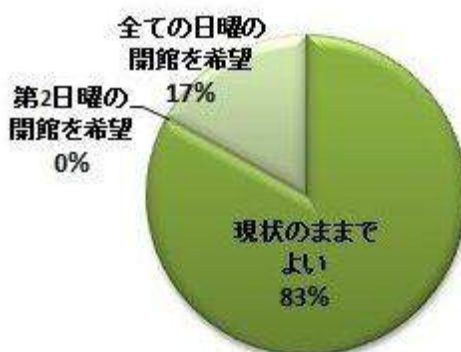
センター行事への参加



かまくらファンドについて



NPOセンターの開館日について



今後希望されること



鎌倉市市民活動センター（通称 鎌倉NPOセンター）は「特定非営利活動法人鎌倉市市民活動センター運営会議」が指定管理者として運営しています。施設としては、鎌倉市役所敷地内に鎌倉市市民活動センター（通称 NPOセンター鎌倉）が、大船のたまなわ交流センター内に大船市民活動センター（通称 NPOセンター大船）があります。

NPOセンターからのお知らせ

新収図書のお知らせ

～NPOセンター鎌倉～

◀図書▶

◇「いつだってそばにいるよ」
著者：阿蘭ヒサコ、富部志保子 2011年3月

◇「社会を変える NPO評価」
著者：粉川一郎 2011年1月

◀資料（報告書）▶

◇「高令社会を共に生きる」
発行：日本生命財団 2011年2月

◇「取り組もう NPOの組織評価・
中間支援組織の果たす役割」
著者：粉川一郎 2011年4月

～両センター～

◀図書▶

◇「自治体の政策刷新効果と地域力」
編者：神奈川県／慶應義塾大学 2011年3月

23年度「登録団体関係行事予定」

- ☆ 利用登録団体懇話会：7月9日（土）、H24年1月28日（土）
- ☆ JR鎌倉駅地下道ギャラリー展：12月6日（火）～12日
- ☆ NPO支援かまくらファンド審査会：11月3日（木・祝）
- ☆ 鎌倉パートナーズ発行：6月、9月、12月、H24年3月
- ☆ 相談：毎月実施（詳細は「広報かまくら」に掲載）

平成23年6月1日現在 **利用登録団体数：393団体**

お願い 利用登録団体の登録内容（連絡先・代表者・活動内容等）が変更された場合は速やかにご連絡ください。

新規登録団体の紹介（平成23年6月1日現在）

- ☆NAOS 学習療育サポートアカデミー-NAOS 鎌倉：授業時に特別な配慮を要する子どもたちが普通教育を伸び伸びと自分らしく普通児と共に普通学級で受けることができるような環境作りを目指す活動
- ☆鎌倉の別荘地時代研究会：明治・大正期の鎌倉の別荘地を中心に地域史を研究し、湘南邸園文化祭に協力する活動（鎌倉の別荘地ツアー）
- ☆川崎病の子供をもつ親の会：川崎病児（者）の苦しみと、その家族の不安をなくすための活動、及び、川崎病の一日も早い原因究明、その根本的な予防法と後遺症の有効な治療法の確立、川崎病の根絶を目指すための活動
- ☆ふれんど：発達障がいの子の正しい知識や関わり方の市民への啓発のための講演会・学習会開催、児童支援のための具体的活動（山登り、料理教室等）の実施、市内諸機関の活動に対する支援、保護者のサポート等
- ☆よりともサッカークラブ：青少年の健全な育成と地域コミュニティの良好な発展に寄与することを目的に、選手（子供）、サポーター（保護者・OBなど）、コーチが一体となって運営する少年サッカークラブ
- ☆インドネシア語勉強会：インドネシア語学習とインドネシア人との交流を行い、異国で疲れた彼らが憩える場を作る活動
- ☆コープかながわ鎌倉市エリア会：自主的・自発的な参加をつなぐ場として『つどい』の場を多彩に企画・開催。内容は子育て、医療、消費、環境など多種多様
- ☆ちきゅうの子22：「22世紀に生まれてくる子どもたちのための未来をつくる人材が生まれる土壌作り」をテーマに活動。現在は、震災支援を行っている
- ☆新しい子育てを考える会：就労や障害、病気等、様々な事情によって子育てに困難を感じている方々を支援する活動
- ☆生活総合研究所：悩みや痛みを抱える方々の相談に乗る活動（無料相談）

発行：鎌倉市市民活動センター
 編集：特定非営利活動法人 鎌倉市市民活動センター運営会議 広報部会
<http://www3.ocn.ne.jp/~npo-kama/>

NPOセンター鎌倉

〒248-0012 鎌倉市御成町 18-10
 TEL:0467-23-3000 内線 2655
 TEL:0467-60-4555(直通)
 FAX:0467-61-3928
 E-mail:npo@chive.ocn.ne.jp



NPOセンター大船

〒247-0061 鎌倉市台 1-2-25
 (たまなわ交流センター 1階)
 TEL/FAX:0467-42-0345
 E-mail:npo2@abelia.ocn.ne.jp

イベント情報

玉縄歴史アカデミア 連続セミナー 第10回「ここを知りたい! 玉縄城」

講演:『戦国鎌倉悲譚 剋』に見る玉縄城口
伊東 潤(時代小説家)

対談:玉縄城主の魅力について
伊東 潤 VS 伊藤 一美

開催日時:平成23年7月3日(日)18:30~21:00

会場:鎌倉生涯学習センター ホール ※全席自由

チケット:500円(前売り 鎌倉島森書店、たらば書店、きらら鎌倉「ガレ」、当会)

主催:玉縄城址まちづくり会議

後援:鎌倉市教育委員会 他

問合せ先:TEL/FAX 0467-45-7411(荒井)

E-mail:artbank21@nifty.com

申し込み:6月10日からFAX、メールで受付

H P: <http://www48.tok2.com/home/tamanawajyo>

※会場で「鎌倉戦国悲譚 剋」、新刊「北天蒼星」をお買い上げの方にサインいたします。

鎌倉こどもミュージカル 第4回公演

あまんじゃくの桜貝

開催日時:平成23年7月21日(木)開演 14:30~/17:30~
(開場30分前 上演時間約1時間30分)

会場:鎌倉芸術館 小ホール

チケット:前売り1200円 当日1500円(全席自由)

※チケット代金の一部は、東日本大震災の被災者支援のために寄付いたします。

主催:鎌倉こどもミュージカル

後援:鎌倉市教育委員会 ほか

申込・問合せ:080-2069-6286(城楽)

E-mail:info@kamakurakm.com

ピースウェイヴ 2011

「ピースウェイヴ2011」は、“平和”への願いがギュッとつまったイベントです。どなたでも参加できます。

ぜひ、お子さまとご一緒にお越しください。

開催日時:平成23年7月25日(月)10:00~16:00

会場:逗子文化プラザホール

(京急 新逗子駅より徒歩2分、JR逗子駅より徒歩5分)

入場料:無料

★なぎさホールの神奈川フィルハーモニー管弦楽団員によるチャリティーコンサートのみ有料

(チケット)前売り1000円 当日1200円

主催:コープかながわピースウェイヴ実行委員会

後援:鎌倉市教育委員会 他

問合せ先:046-871-6149(逗子市・葉山町エリア事務所)

関谷川清掃活動

活動日:平成23年7月10日(日)9:30~11:00

集合場所:新風台住宅地、信号突き当たりの関谷川付近

服装:クリーンデーの服装

持ち物:手鎌、川に入れる方は長靴

主催:関谷川をきれいにする会

問合せ先:0467-47-4712(柳澤)

E-mail:kimi.yanagisawa@nifty.com

極楽寺義烈荘物語 第二話 講演会 「インド独立の志士 R.B.ボース」

開催日時:平成23年7月17日(日)10:00~11:30

会場:鎌倉生涯学習センター 第6集会室

講師:吉岡 修一氏(株式会社中村屋CSR推進室室長)

参加費:500円 申込み先着50名

主催:自然環境と人間生活を考える会

後援:鎌倉市教育委員会 他

申込先:090-4710-3790(渡邊)

E-mail:tm6903@live.jp

東日本大震災復興チャリティーコンサート

みみをすます

~谷川俊太郎・パリアーソ~

詩の朗読とピアノ・ハーモニカ演奏

開催日時:平成23年7月25日(月)15:00(開場14:30)

会場:鎌倉芸術館 小ホール

チケット:大人 2500円(当日2800円) ※全席自由

高校生以下 1800円(当日2000円)

※未就園児のご入場はご遠慮下さい。

主催:鎌倉友の会

後援:鎌倉市教育委員会 ほか

問合せ先:TEL/FAX 0467-43-0144(火・金曜)

E-mail:kamatomo16@gmail.com

H P: <http://www.kamatomo.sakura.ne.jp/>

鎌倉に津波が来たら ~東日本大震災からの教訓~

あなたの住所の海拔は? ハザードマップ配布

開催日時:平成23年8月3日(水)13:30~15:30

会場:鎌倉市福祉センター 第1・2会議室

講師:鎌倉市防災安全部総合防災課職員

会費:無料 先着順80名

主催:鎌倉市市民活動センター運営会議研修部会

申込先:0467-60-4555(NPOセンター鎌倉)